

児童ができていたら、チェック☑しましょう。☑が付かない場合は、⇒が示す p2 の手立てを授業に取り入れてみましょう。

学習過程 観点	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識	(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。☐⇒C①②③④⑤ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。☐⇒C①②③④⑤⑪⑫⑬⇒D①⑩⑪ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。☐⇒C①②③④⑤⇒D①⑧⑨⑩⑪⇒E①②③④					
技能 (収集する 読み取る まとめる)	(1) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために必要な資料を集めることができる。☐⇒C①②③ (2) その資料がどのような資料か分かっている。☐⇒C⑥⑦⑧ (3) 事実を正確に読み取っている。☐⇒C④⑤⑥⑦⑧ (4) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。☐⇒B①⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。☐⇒C⑥⑦⑧⑨⑩					
思考・ 判断・ 表現	(1) 資料を基に気付きをもつことができる。☐ ⇒A①② (2) 資料を基に疑問をもつことができる。☐ ⇒A①②③ (3) 疑問に対して、予想を考えることができる。☐ ⇒A⑤⑥ (4) 気付きや疑問から、キーワード(問い)をつくることができる。☐ ⇒A④⑤⑥⑦ (5) キーワード(問い)を関連付けて、大きな問いをつくることができる。☐ ⇒A④⑦⑧⑨	(1) 学習問題に対して、予想を考えることができる。☐ ⇒B① (2) 自分が調べたいことを考えることができる。☐ ⇒B①② (3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。☐ ⇒B①②③	(1) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考えることができる。☐ ⇒C①②③⑪⑬	(1) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。☐ ⇒C⑫⇒D①②③ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。☐ ⇒D②③④⑤ (3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考慮することができる。☐ ⇒D④⑤⑥⑦ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。☐ ⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) これまでに学習してきたことを基に、自分の考えをもつことができる。☐ ⇒E①②③④ (2) 友達の考えを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。☐ ⇒E①②③④	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。☐ ⇒F④ (2) 新たに調べたいことを考えることができる。☐ ⇒F①②③
主体的に学習に取り組む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。☐⇒B①②③⇒C①②③ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。☐⇒B①②③⇒C①②③⑬ (3) 社会的事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。☐⇒A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (4) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。☐⇒A①⇒F①②③④					

授業に取り入れていますか。若い番号から順にチェック☑しましょう。☑が付かない手立てがある場合は、その手立てを授業に取り入れてみましょう。

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
手 立 て	<p>A①身近なことを題材に挙げる。 □</p> <p>A②資料提示の工夫(資料の一部を隠すなど)を行う。□</p> <p>A③題材に対して気付きや疑問をもたせる。□</p> <p>A④気付きや疑問を教師が意識的に仲間(キーワード)分けして板書する。□</p> <p>A⑤気付きや疑問に対して、問い返しをしながら、児童に予想を出させる。□</p> <p>A⑥自分の考えをもちやすい場面(予想など)で、自分と相手の意見が同じか違うか考えさせながら対話させる。□</p> <p>A⑦気付きや疑問を基に、調べていきたいことを考えさせる。□</p> <p>A⑧調べていきたいことを学習問題として書かせる。□</p> <p>A⑨個別にもった学習問題を全体で交流し、学習問題を設定する。□</p>	<p>B①学習問題の解決のために何を調べるとよいかを考えさせる。 □</p> <p>B②調べるとよいと考えたことをグルーピングし、何から調べたらよいか考えさせる。□</p> <p>B③学習問題の解決のために何を調べるとよいか調べる方法を考えさせる。□</p>	<p>C①学習問題を確認する。□</p> <p>C②調べることを図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。□</p> <p>C③学習問題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。□</p> <p>C④調べる内容(視点)を確認する。□</p> <p>C⑤調べる内容について、予想をさせる。□</p> <p>C⑥資料(写真、教科書等の文章等)を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。□</p> <p>C⑦教師が指示した資料で調べさせる。□</p> <p>C⑧立場ごとに、資料を分けて提示する。□</p> <p>C⑨様々な資料を見せ、読み取りの視点を増やす。□</p> <p>C⑩学習問題や学習課題(本時のめあて)の解決に必要な情報であるのか考えさせる。□</p> <p>C⑪調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認させる。□</p> <p>C⑫調べた内容について、問い返して、事実を相互に関連付けて考えさせる。□</p> <p>C⑬学習問題について、学習課題(本時のめあて)とのつながりを考えて記述させる。□</p>	<p>D①事実を調べた後に、意味を問う発問を段階的に行う。□</p> <p>D②調べた事実と考えを明確に分けさせる。□</p> <p>D③根拠となる資料を確認する。□</p> <p>D④話合いの目的・ゴールを示す。□</p> <p>D⑤考えをペアやグループで伝え合わせる。□</p> <p>D⑥視点を基に、考えをもたせる。□</p> <p>D⑦視点同士を比較させ、考えをもたせる。□</p> <p>D⑧まとめ方を例示する。□</p> <p>D⑨キーワードを挙げる。□</p> <p>D⑩まとめ方に関する判定基準を示す。□</p> <p>D⑪掲示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。□</p>	<p>E①単元全体のまとめ方を例示する。□</p> <p>E②キーワードを挙げる。□</p> <p>E③単元全体のまとめ方に関する判定基準を示す。□</p> <p>E④ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。□</p>	<p>F①新たな学習問題を提示する。□</p> <p>F②社会的問題を含んだ資料を提示し、学習問題を設定する。□</p> <p>F③ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を話してもらおう。□</p> <p>F④学んだことと自分たちの生活(自分にできること)とをつなげて考えさせる。□</p>